



2026 年 7 月 9 日

独立行政法人国立科学博物館

科博NEWS展示のご案内

日本で初めて産出確認されたラピスラズリ

国立科学博物館(館長: 真鍋 真)は、2026 年 7 月 14 日(火)～2026 年 9 月 6 日(日)まで、科博NEWS展示「日本で初めて産出確認されたラピスラズリ」を開催いたします。

当館では 2026 年 2 月 27 日(金)にプレスリリース「日本産ラピスラズリ 糸魚川市内で発見」を発出し、新潟県糸魚川市内において日本で初めてラピスラズリの産出が確認されたことをお知らせしました。

このプレスリリースは多くのメディアに取り上げられ、報道をご覧になった方々によって、新たなラピスラズリ試料も10個以上発見されています。

本 NEWS 展示では、日本で初めて発見されたラピスラズリの実物標本を展示し、世界的に有名なアフガニスタン産の標本と並べて、比較展示いたします。また、化学組成分析等により明らかになった両者の特徴の違いについて解説します。



糸魚川産ラピスラズリの外観



左と同一標本の切断研磨面

【開催期間】 2026年7月14日(火)～9月6日(日)

【開催場所】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

日本館3階 回廊

<展示概要>

新潟県糸魚川市内で拾われたラピスラズリは、2 名の方が長年趣味として収集してきた、地元の岩石(主に翡翠)の中に含まれていました。両氏が亡くなられた後、それぞれが収集された岩石は、翡翠などを扱う小滝物産(代表:伊藤加奈子氏)がまとめて引き取りましたが、その中に青い石があったため、国立科学博物館において化学組成分析と X 線解析を行ったところ、ラピスラズリであることが判明しました。

本展示では、日本で初めて発見されたラピスラズリの実物標本を展示し、世界的に有名なアフガニスタン産の標本と並べて、比較展示いたします。また、化学組成分析等により明らかになった両者の違いについて解説します。



2個体目の糸魚川産ラピスラズリ



アフガニスタン産ラピスラズリ

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部 研究推進・管理課 研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：門馬 綱一（理学研究部 地学研究グループ 研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL: 029-853-8984 FAX: 029-853-8998 E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <https://www.kahaku.go.jp/>